

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科室内研修支援事業」

実施報告

# 釧路市立湖畔小学校

\*学級数 14 \*児童数 320

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道弟子屈高等学校	教諭	林 正大	地学・物理

## 【本事業のねらい】

小学校第6学年「電気の利用」の単元において、手回し発電機を使って作り出した電気を、コンデンサーに蓄えたり、音などに変換したりすることにより、エネルギーが蓄えられることや変換できることについて体験的にとらえさせるための、教員の指導力の向上を目的に実施した。

## 【実施内容】

2月20日14:50~15:50、湖畔小学校理科室において、14名の教員を対象に、小学校第6学年「電気の利用」の単元目標と、学習内容、指導上の留意事項を確認した後、手回し発電機で「電気をつくる」、「電気を蓄える」ことについての研修を行った。



## 【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・手回し発電機を使用するのが初めてだったので、大変勉強になった。実際に授業で活用したい。
- ・4人で手回し発電機をつなぎ、電球をつける実験が、子どもたちの興味を引く活動であったと思う。
- ・子どもたちが興味を引きそうな指導方法を教えてもらい、たいへん参考になった。
- ・本校の理科室にある、理科備品や理科教材をどのように使うとよいか再確認することができた。
- ・理科教材の使用方法がわかり、勉強になった。ありがとうございます。
- ・理科の授業を行うに当たって、前もって準備をしておくことの大切さを、改めて感じた。

## 【来年度以降の実施に向けて】

本校教諭へのアンケート調査から、指導することが難しいとの声があがった「土地のつくりと変化」「人の誕生」の単元を研修したいと考えている。